

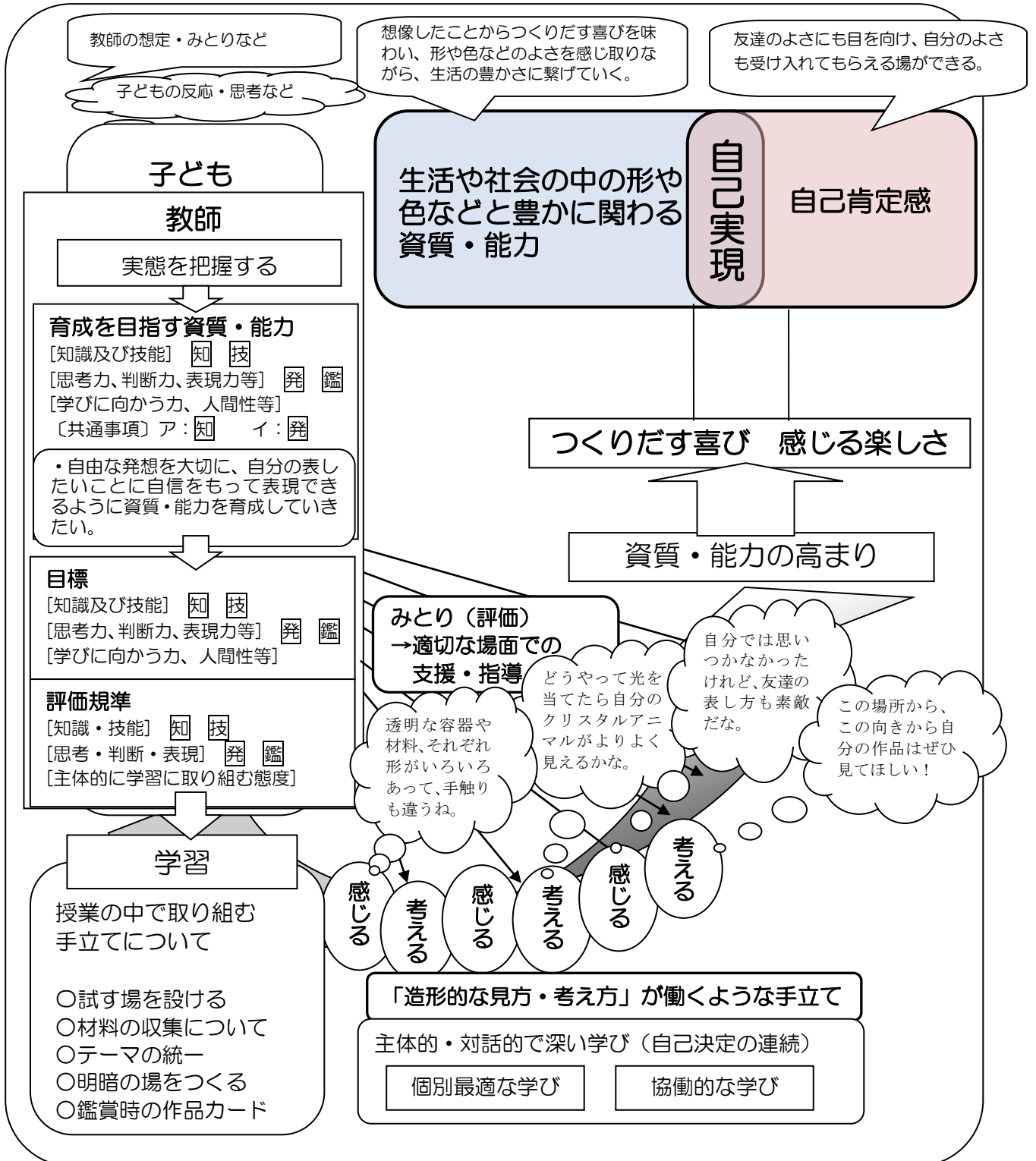
第3学年1組 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立川崎小学校

鈴木 千尋

1. 題材名 「クリスタルアニマル」 A表現 (立体に表す活動) 5時間扱い

2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



3. 活動場所 図工室

4. 題材観

(1) 子どもたちの実態

3年生の子どもたちは、素直で明るく、元気な子どもが多い。何事もチャレンジしようという学年目標をもとに、進んで取り組むことを意識している。図画工作の授業でも、自分を表現することを楽しみながら取り組んでいる子どもが多い。一方で、個別の声かけや支援が必要な子どもや、自ら発想を膨らませてつくることに苦手意識をもっている子どももいる。

図画工作科「絵の具＋水＋ふで＝いいかんじ！」では、水彩絵の具を活用して、絵の具でできる色や形の感じを工夫しながら表した。いきなり活動に入るのではなく、2年生までで学習した絵の具使い方を思い出したり、試しながら活動したりすることで、自信をもったのびのびと自由な発想で表現できる子どもが多かった。自由な発想を引き出すためにも、試しながら活動できる場を設けることが有効であると感じた。

(2) 題材と育成を目指す資質・能力

本題材では、光を通す透明な容器や材料を組み合わせながら、形や色の感じを楽しみながらつくってほしいと考えた。自分だけのクリスタルアニマルをつくり出すために、まずは透明な材料とLEDライトを使って光の当たり方や見え方を十分に試す時間や場を設けた上でつくる活動に入っていく。光を通すことによって生まれるよさや美しさに気づき、その美しさを「作品に生かしたい」と思えるような導入にしたい。また、つくっている途中にも互いに見合える時間を取ることで、自分の作品のよさを知ってもらったり、友達の発想のよさや工夫にも気付いたりすることで、見方や考え方を広げていけるようにしたい。

5. 題材の目標

(1) 知識及び技能に関する題材の目標

- 光を通す材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かる。(知識)
- ペットボトルなどの透明な材料、化学接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。(技能)

(2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

- 形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、透明な材料を組み合わせて感じたこと、想像したことから、表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。(発想や構想に関する資質・能力)
- 形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。(鑑賞に関する資質・能力)

(3) 学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

- 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

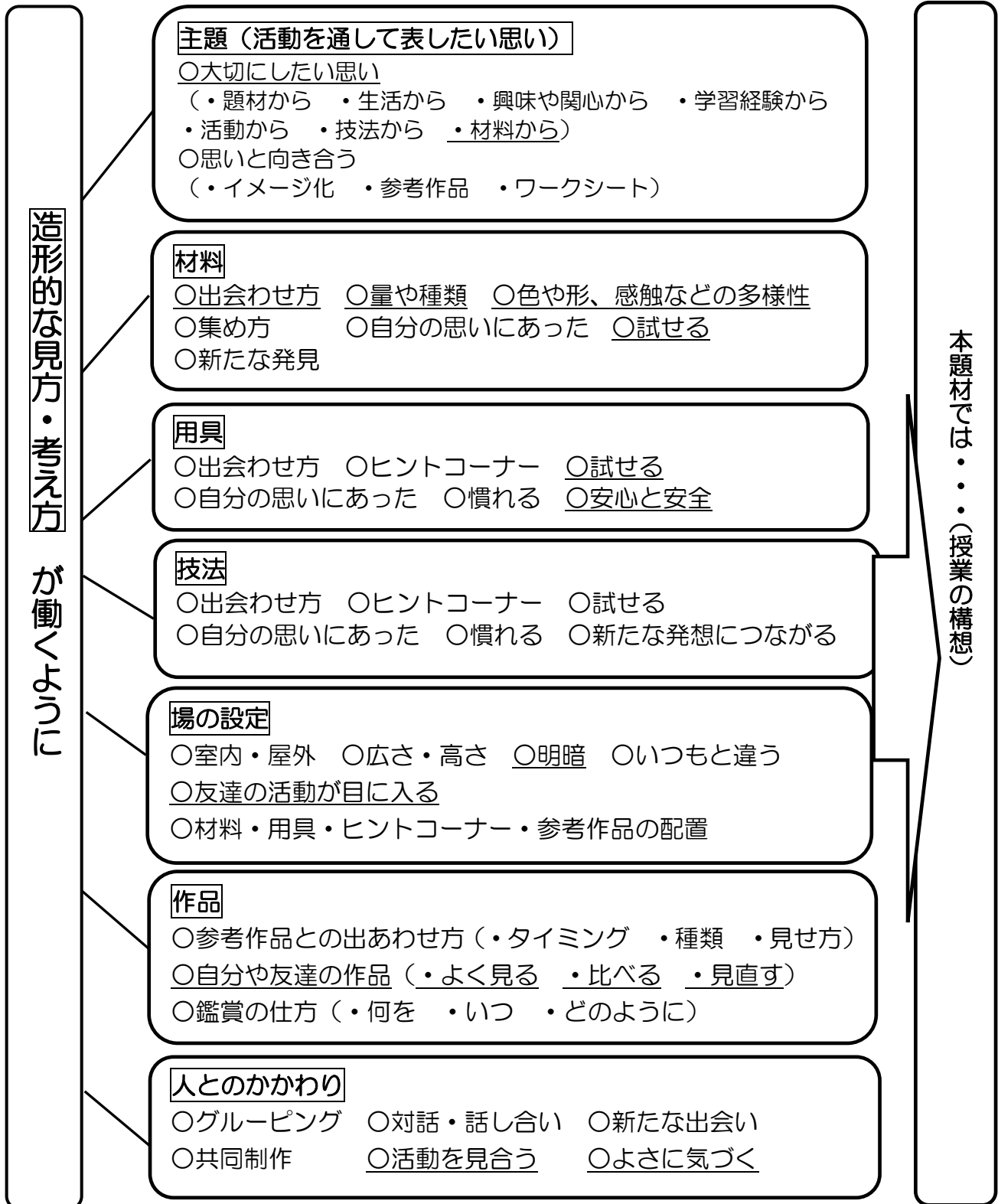
6. 題材の評価規準 ～ 3つの観点から育てたい力を考える ～

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 光を通す材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどが分かっている。</p> <p>技 ペットボトルなどの透明な材料、化学接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫して表している。</p>	<p>発 形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、透明な材料を組み合わせで感じたこと、想像したことから、表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>鑑 形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>主 つくりだす喜びを味わい、進んで形や色などに関わり表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。</p>

7. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

(1) 手立ての視点

- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、主題・材料・技法と関わることができるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を働かせながら、作品をつくったりみたりできるようにするために・・・
- ・「造形的な見方・考え方」を身につけ、生活に活かせるようにするために・・・



(2) 本題材における、造形的な見方・考え方が働くような手立て

- つくる前に試す場を設ける
つくる前に、光を通す透明な容器や材料に出会い、一人一人がもつLEDライトを当てて光の通り方や見え方を試す時間と場を設けることで、つくる時のヒントにし、イメージを膨らませて活動できるようにする。また、「透明」と「不透明」の材料を光に透かして見比べ、見え方が変わることを感じ取れるようにする。
- 材料の収集について
事前に透明な材料を集めておき、導入の場面で光を楽しむ時間の中で、「クリスタルアニマル」を作ると活動の内容を知った後に、自分の表したいアニマルを作るための材料を集められるように期間を空けられるようにする。
- 接着や切断の指導
つくる前に、基本的な接着や切断などの技能を理解できるように指導し、つくる際に自分が表したいものを十分に表せるようにする。
- テーマの統一
テーマを「アニマル」で統一させることで、基本的な条件を揃える。(頭がある、手足がある、目がある、など)それによって、つくる途中で手足の付け方や作り方などで苦労したり悩んだりした時に、共通の課題で協働的に学び合えるようにする。
- 子どもたちへの声かけ
子どもたちが作りたいものを自由な発想でつくることできるように、共感的な言葉かけをしたり質問で考えを引き出したり、この先の活動の見通しをもったりできるような声かけを積極的に行うようにする。
- アニマルの目を作る
透明な材料からアニマルを連想できるように、クリアファイルなどで作成した「目」を当てながらイメージを膨らませられるようにする。
- 明暗の場をつくる
つくる途中に、常に「光を取り入れる作品」ということを意識し、どのように光るか試しながら取り組めるように、暗い場所を用意し、いつでも自由に試せるようにしておく。
- GIGA 端末の活用
試す場とつくる場を Meet で常時繋いでおくことで、つくり途中で悩んでいる子どもやヒントが欲しい子どもが見て、自分の活動に繋がられるようにする。
- 鑑賞時の作品カード
見てほしい場所、向き、光の当たり方を作品カードに書いておくことで、友達がどんな見せ方をしたいか感じ取りながら鑑賞できるようにする。

8. 準備

- [教師] 光を通す透明な材料(ペットボトル、ストロー、プラスチック容器など)
油性ペン、セロハンテープ、色セロハン、両面テープ、化学接着剤、LEDライト
- [子ども] 光を通す透明な材料、セロハンテープ、はさみ、GIGA 端末

9. 指導と評価計画（5時間扱い）

	◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て	評価規準□と 評価方法（ ）
1 次 4 5 分	<p>「とうめい」と「光」を合わせてたくさんキラキラを見つけよう。</p>		
<p>◇事前に集めておいた透明な容器や材料などの材料を並べ、見比べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卵のパックは丸くなっているところがあって面白いね。 ・やわらかいものとかたいものがある。 <p>◇LED ライトを使い、透明な材料と光を合わせてどのように見えるか交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライト上に容器を置くと全体がキラキラする。 ・透明な袋も、反射してきれいだな。 <p>◇自分の作りたいクリスマス動物をイメージし、どのような材料を集めたらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卵のパックを口に見立てて、ワニを作りたいな。 ・キリンの首を作るのにどんな材料を集めよう。 ・ライオンのたてがみは、ふわふわした材料を使いたいな。 ・きれいな羽があって、角が生えている生き物を自分で考えてつくってみようかな。 	<p>○材料の形や手触りに気付けるように、実際に手でもって確かめられるようにする。</p> <p>○「透明」であることがポイントであると気付けるように、不透明な材料だとどのような見え方になるか提示する。</p> <p>◎一人一人が自分のペースで光を扱えるように、一人1つ光源を用意しておく。</p> <p>○互いの活動が見えるように、小グループの席を準備する。</p> <p>○自分が作りたいものを自由に表現できるように、すでにある材料だけではなく、追加で材料を準備することを伝える。</p>	<p>□ 透明な材料を組み合わせさせて感じたこと、想像したことから、表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。 (発言)</p>	

<p>2次 135分 (本時)</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">光りかがやくクリスタルアニマルを作ろう！</p> <p>◇透明な容器の切り方・着け方・扱い方について確認する。</p> <p>◇透明な容器や材料とLEDライトを使って、自分だけのクリスタルアニマルをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透明な容器と容器を付けて、耳にしよう。 ・ライトはどこに置くといひかな。 	<p>○怪我を防ぐために、ペットボトルの切り出し方や切り進め方、切り口の安全性に気をつけることや接着の仕方など、基本的な技法や安全指導を行う。</p> <p>◎いろいろな透明材料を試せるように、子どもが個人で用意した材料以外に材料コーナーを設置する。</p> <p>○前時同様、明暗分かれた場所を用意し、いつでも自由に試せるようにしておく。</p> <p>◎子どもたちが作りたいものを自由な発想でつくることができるように、共感的な言葉かけをしたり質問で考えを引き出したり、この先の活動の見通しをもったりできるような声かけを積極的に行うようにする。</p> <p>◎試す場とつくる場を Meet で常時繋いでおくことで、つくる中で悩んでいる子どもやヒントが欲しい子どもが見て、自分の活動に繋げられるようにする。</p>	<p>発 形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。(活動)</p> <p>技 ペットボトルなどの透明な材料、化学接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫して表している。(活動)</p> <p>知 光を通す材料を組み合わせながら、思い付いた生き物を表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組合せによる感じなどを理解している。(活動・発言)</p>
<p>3次 45分</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">クリスタル動物園にたんけんしに行こう！</p> <p>◇自分の作品を見てほしい所に置き、鑑賞会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るい所よりも、暗い所で見てほしいです。 ・この向きから見ると、一番光が当たって綺麗に見えるから、ここから見えてね。 ・透明な容器によって光の反射の仕方が変わるから、面白いね。 	<p>◎クリスタルアニマルを教室の自分が見てほしい場所、向き、光の当て方を決め、鑑賞し合えるようにする。</p> <p>○全体交流の場では、テレビに映して見られるように、予め完成形をGIGA 端末で撮影しておく。</p>	<p>鑑 自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方・考え方を広げている。(GIGA 端末・発言)</p>

※主体的に学習に取り組む態度は、子ども自ら「知識及び技能」を獲得したり、「思考力判断力、表現力等」を身に付けたりするために、粘り強く取り組んだり学習を調整したりしている姿を活動全体を通して評価する。

10. 本時の活動（3/5時間 45分）

（Ⅰ）本時の目標

- ペットボトルなどの透明な材料、化学接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫して表す。（技能）
- 透明な材料を組み合わせることで感じたこと、想像したことから、表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考える。（発想や構想に関する資質・能力）

（Ⅱ）本時の展開

◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て	評価規準 <input type="checkbox"/> と評価方法 ()
光りかがやくクリスタルアニマルを作ろう！		
<p>◇前時までの活動を思い出し、本時の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は耳まで完成させたい。 ・足をつけるのに苦労したから、みんなはどうやったか聞きたいな。 ・一度ライトで光らせて見た目を確認してから作り始めよう。 <p>◇透明な容器や材料とLEDライトを使って、自分だけのクリスタルアニマルをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透明な容器と容器を付けて、耳にしよう。 ・ライトはどこに置こう。 ・LEDライトに当たって、色セロハンが光ってきれいだね。 ・LEDライトを横に置くとこう見えるんだね。 ・友達のよいところを自分の作品にも生かしてみたいな。 <p>◇片づけをする。</p>	<p>○怪我を防ぐために、前時までに確認している用具の安全な使い方について、再度指導してから取り組めるようにする。</p> <p>◎いろいろな透明材料を試せるように、子どもが個人で用意した材料以外に材料コーナーを設置する。</p> <p>○前時同様、明暗分かれた場所を用意し、いつでも自由に試せるようにしておく。</p> <p>◎試す場とつくる場を Meet で常時繋いでおくことで、つくる中で悩んでいる子どもやヒントが欲しい子どもが見て、自分の活動に繋がれるようにする。</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> ペットボトルなどの透明な材料、化学接着剤を適切に扱うとともに、はさみやペンなどについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫して表している。 (活動)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。 (活動)</p>